

四半期報告書

(第50期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

ワタベウェディング株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 5
- (7) 議決権の状況 7

2 役員の状況 7

第4 経理の状況 8

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 9
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 11
 - 四半期連結損益計算書 11
 - 四半期連結包括利益計算書 12
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 13

2 その他 17

第二部 提出会社の保証会社等の情報 18

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月1日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	ワタベウェディング株式会社
【英訳名】	WATABE WEDDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 渡部 秀敏
【本店の所在の場所】	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
【電話番号】	075（352）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 花房 伸晃
【最寄りの連絡場所】	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
【電話番号】	075（352）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役 副社長執行役員 管理本部長 花房 伸晃
【縦覧に供する場所】	ワタベウェディング株式会社東京グランドプラザ （東京都中央区京橋1丁目1番6号） ワタベウェディング株式会社大阪グランドプラザ （大阪市北区角田町2番15号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京グランドプラザ及び大阪グランドプラザは、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (百万円)	23,276	22,575	49,295
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△225	△1,548	1,351
四半期純損失(△)又は当期純利益 (百万円)	△184	△1,168	560
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△274	△769	980
純資産額 (百万円)	14,238	14,426	15,344
総資産額 (百万円)	24,654	25,437	26,348
1株当たり四半期純損失金額(△)又は1株当たり当期純利益金額 (円)	△18.66	△117.95	56.56
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	57.5	56.4	58.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	19	△1,625	1,473
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△417	△470	△959
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△393	770	△825
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	5,516	5,294	6,403

回次	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額(△) (円)	△47.87	△96.72

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、「リゾート挙式」におきましては、リゾート婚の本質的な魅力を訴求するべく、リゾート婚の新たなスタイル提案やハワイ州観光局ロマンス親善大使である吉川ひなのさんと共同でウェディングプランをプロデュースするなどのプロモーション強化に取り組んでまいりました。また平成25年8月には、南青山サロンを新規オープンし、新宿店、福岡店をリニューアルオープンするなど、首都圏を中心に店舗網の再編を行ってまいりました。成長戦略であるアジアマーケットにおきましては、リゾート挙式の取扱組数が前年同四半期に比べて減少したものの、現地におけるローカル挙式の取扱組数及び婚礼単価は増加いたしました。しかしながらリゾート挙式全体におきましては、市場の競争激化による挙式取扱組数の減少と円安の進行による為替の影響を大きく受ける結果となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園では創業85周年記念プランの販売や、女性プロガーコミュニティ「AmebaGG」とコラボレーションし新作ウェディングドレスの発表を行うなど、さらなる顧客の拡大に注力してまいりました。またメルパルクでは、宿泊及び宴会の営業強化や地域オリジナル商品を販売し、地域に根ざしたホテルづくりを推進してまいりました。その結果、挙式取扱組数は前年同四半期に比べて増加いたしました。

以上の結果、当社グループの業績は、全体の挙式取扱組数が減少し、売上高22,575百万円（前年同四半期比3.0%減）、円安の影響により売上原価及び販売管理費が増加した結果、営業損失1,463百万円（前年同四半期営業損失314百万円）、経常損失1,548百万円（同 経常損失225百万円）、四半期純損失1,168百万円（同 四半期純損失184百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

挙式取扱組数が減少し、売上高は9,142百万円（前年同四半期比5.4%減）、広告宣伝費の増加と円安の影響を受けた結果、セグメント損失は1,130百万円（前年同四半期セグメント利益332百万円）となりました。

② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数は増加したものの婚礼単価が減少し、売上高は13,433百万円（前年同四半期比1.3%減）となりましたが、固定費削減に努めた結果、セグメント損失は326百万円（前年同四半期セグメント損失651百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが1,625百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが470百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが770百万円の収入となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、5,294百万円（前年同四半期は5,516百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,625百万円（前年同四半期 19百万円の収入）となりました。これは、減価償却費875百万円、前受金の増加527百万円等があったものの、税金等調整前四半期純損失1,633百万円や未払金の支払額957百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は470百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得688百万円、無形固定資産の取得200百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は770百万円（前年同四半期 393百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の増加700百万円、長期借入れによる収入500百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月1日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,909,400	9,909,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	9,909,400	9,909,400	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	9,909,400	—	4,176	—	4,038

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する所有株式 数の割合 (%)
株式会社寿泉	京都市北区上賀茂畔勝町61番地2	2,257	22.78
クレディ・スイス・セキュリティーズ (ヨーロッパ) リミテッド ピービー オムニバス クライアント アカウ ント (常任代理人 クレディ・スイス証券 株式会社)	ONE CABOT SQUARE LONDON E14 4QJ UNITED KINGDOM (東京都港区六本木1丁目6番1号 泉ガーデンタワー)	696	7.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株 式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	503	5.07
ワタベウェディング従業員持株会	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半 敷町671番地	337	3.40
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	300	3.02
株式会社京都銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行株式会社)	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町 700番地 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	300	3.02
ワタベウェディング取引先持株会	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半 敷町671番地	250	2.52
有限会社シュール	京都市左京区岩倉南桑原町6番地	220	2.22
渡部 隆夫	京都市左京区	199	2.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会 社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	186	1.88
計	—	5,249	52.97

(注) 1. 上記信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、日本トラスティ・サービス信託銀行株式
会社503千株、日本マスタートラスト信託銀行株式会社186千株であります。

2. 株式会社三菱東京UFJ銀行及びその共同保有者である三菱UFJ信託銀行株式会社等から、平成21年
5月8日付で大量保有報告書の変更報告書の提出があり、平成21年4月27日現在で以下のとおり株式を
所有している旨の報告を受けました。しかし、当社として当第2四半期会計期間末時点における三菱UF
J信託銀行株式会社の実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況には含めておりませ
ん。

提出者(大量保有者)の氏名又は名称	所有株式等の 総数(千株)	株式等の保有 割合(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.02
三菱UFJ信託銀行株式会社	320	3.23
三菱UFJ投信株式会社	15	0.15
計	636	6.42

3. スパークス・アセット・マネジメント株式会社から、平成24年12月4日付で大量保有報告書の変更報告書の提出があり、平成24年11月30日現在で以下のとおり株式を所有している旨の報告を受けましたが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況には含めておりません。

提出者（大量保有者）の氏名又は名称	所有株式等の 総数（千株）	株式等の保有 割合（%）
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	434	4.38
計	434	4.38

4. 三井住友信託銀行株式会社から、平成25年3月6日付で大量保有報告書の変更報告書の提出があり、平成25年2月28日現在で以下のとおり株式を所有している旨の報告を受けました。しかし、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況には含めておりません。

提出者（大量保有者）の氏名又は名称	所有株式等の 総数（千株）	株式等の保有 割合（%）
三井住友信託銀行株式会社	173	1.74
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	10	0.10
日興アセットマネジメント株式会社	13	0.13
計	197	1.99

5. マラソン・アセット・マネジメント・エルエルピーから、平成25年5月17日付で大量保有報告書の変更報告書の提出があり、平成25年5月15日現在で以下のとおり株式を所有している旨の報告を受けましたが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができないので、上記大株主の状況には含めておりません。

提出者（大量保有者）の氏名又は名称	所有株式等の 総数（千株）	株式等の保有 割合（%）
マラソン・アセット・マネジメント・エルエルピー	640	6.45
計	640	6.45

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,904,800	99,048	—
単元未満株式	普通株式 4,300	—	—
発行済株式総数	9,909,400	—	—
総株主の議決権	—	99,048	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ワタベウェディング株式会社	京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地	300	—	300	0.0
計	—	300	—	300	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	アジア事業推進室長	翁長 良晴	平成25年9月30日

(2) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役 社長執行役員	代表取締役社長	渡部 秀敏	平成25年9月5日
代表取締役 副社長執行役員 管理本部長	取締役 管理本部長	花房 伸晃	平成25年9月5日
取締役 執行役員 国内事業担当	取締役 国内挙式事業担当	梶 明彦	平成25年9月5日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,407	5,298
売掛金	1,941	1,799
商品及び製品	197	253
仕掛品	38	26
原材料及び貯蔵品	541	620
その他	2,068	2,728
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	11,164	10,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,178	5,140
土地	2,607	2,537
その他（純額）	1,563	1,535
有形固定資産合計	9,348	9,213
無形固定資産		
投資その他の資産	781	831
差入保証金	3,275	2,977
その他	1,807	1,745
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	5,053	4,693
固定資産合計	15,183	14,738
資産合計	26,348	25,437
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,009	1,709
短期借入金	900	1,350
未払法人税等	202	—
前受金	2,012	2,546
賞与引当金	446	351
その他	3,053	2,075
流動負債合計	8,625	8,033
固定負債		
長期借入金	700	1,200
退職給付引当金	595	674
資産除去債務	573	605
その他	509	498
固定負債合計	2,378	2,978
負債合計	11,004	11,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	8,147	6,830
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,361	15,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	35
繰延ヘッジ損益	△1	2
土地再評価差額金	△903	△903
為替換算調整勘定	△227	172
その他の包括利益累計額合計	△1,092	△691
少数株主持分	75	73
純資産合計	15,344	14,426
負債純資産合計	26,348	25,437

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	23,276	22,575
売上原価	7,611	7,892
売上総利益	15,664	14,683
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	5,412	5,215
賞与引当金繰入額	265	279
退職給付費用	124	99
賃借料	3,312	3,164
その他	6,864	7,388
販売費及び一般管理費合計	15,978	16,146
営業損失 (△)	△314	△1,463
営業外収益		
受取賃貸料	28	29
受取補償金	32	—
受取手数料	40	—
その他	52	39
営業外収益合計	154	69
営業外費用		
支払利息	9	7
開業費	—	90
支払手数料	20	20
その他	35	36
営業外費用合計	66	154
経常損失 (△)	△225	△1,548
特別損失		
固定資産除売却損	—	39
施設店舗整理損	59	46
特別損失合計	59	85
税金等調整前四半期純損失 (△)	△285	△1,633
法人税等	△90	△456
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△194	△1,177
少数株主損失 (△)	△9	△8
四半期純損失 (△)	△184	△1,168

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△194	△1,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△3
繰延ヘッジ損益	△37	3
為替換算調整勘定	△34	405
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△79	407
四半期包括利益	△274	△769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△263	△767
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△1

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△285	△1,633
減価償却費	902	875
施設店舗整理損	59	46
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△98
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	9	7
為替差損益(△は益)	1	11
売上債権の増減額(△は増加)	59	157
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48	△67
仕入債務の増減額(△は減少)	△324	△309
未払金の増減額(△は減少)	△167	△957
前受金の増減額(△は減少)	546	527
その他	△363	△135
小計	286	△1,588
利息及び配当金の受取額	11	14
利息の支払額	△9	△7
法人税等の支払額	△269	△200
法人税等の還付額	—	157
営業活動によるキャッシュ・フロー	19	△1,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△412	△688
有形固定資産の売却による収入	8	97
無形固定資産の取得による支出	△57	△200
差入保証金の差入による支出	△18	△43
差入保証金の回収による収入	27	349
その他	34	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	700
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△250	△250
少数株主からの払込みによる収入	30	—
配当金の支払額	△148	△148
その他	△25	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393	770
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△816	△1,109
現金及び現金同等物の期首残高	6,332	6,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 5,516	※ 5,294

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,519百万円	5,298百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△3	△4
現金及び現金同等物	5,516	5,294

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	148	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	148	15	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	148	15	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の 原資
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	148	15	平成25年9月30日	平成25年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	9,663	13,612	23,276	—	23,276
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,891	95	2,987	(2,987)	—
計	12,555	13,707	26,263	(2,987)	23,276
セグメント利益又は損失(△)	332	△651	△318	4	△314

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円には、セグメント間取引消去13百万円、棚卸資産等の調整額△8百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国 内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	9,142	13,433	22,575	—	22,575
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,880	72	2,953	(2,953)	—
計	12,023	13,505	25,529	(2,953)	22,575
セグメント損失(△)	△1,130	△326	△1,457	(5)	△1,463

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去17百万円、棚卸資産等の調整額△23百万円が含まれております。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
1 株当たり四半期純損失金額	18円66銭	117円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 (百万円)	184	1,168
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額 (百万円)	184	1,168
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,909,077	9,909,074

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額 148百万円

1 株当たりの金額 15円

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月 2 日

(注) 平成25年 9 月 30 日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月30日

ワタベウェディング株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩淵 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワタベウェディング株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワタベウェディング株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。